

北本市立宮内中学校 家庭学習の手引き 1・2年生用

中学1年生はこんなとき

- ・小学校と違って定期テストでの結果と成績が重要視されるようになってきます。ここが小学校との大きな違いです。
- ・部活動や生徒会、委員会活動など、好きなことに熱中でき、活躍の場所を広げられる楽しさがあります。しかし、環境の変化から時間や心になかなか余裕が持てなくなることもあります。生活のバランスを整えることも大切です。

中学2年生はこんなとき

- ・“勉強の中だるみ時期”とよく言われますが、中学3年生の1年間の勉強に備え、中学1年生からの学習をしっかり積み重ねておく大切な時期です。
- ・中学校生活において、部活動や各行事などで中心的存在として忙しくなる時期です。それらの役割と勉強の両立が必要になります。



勉強のポイント！

学習が進む中で、まったく分からない箇所を作らないようにすることが大切です。そのため、今日習ったことをその日のうちに復習し、明日の授業の予習をしましょう。毎日決めた時間に必ず家庭学習に向かうルーティン（習慣）を身に付けることが大切なポイントです。定期テストに向けても計画表や取組表を活用し、計画的に対策を立てて、目標に向かって継続的に学習しましょう。

家庭学習の内容例 1・2年

自分の進路実現に向けて、具体的な目標を自ら決め、粘り強い意志をもち、継続して取り組みましょう。

㊦ 学習時間のめやす 80分～120分

国語

① 読書を習慣化する

勉強とは少し離れてしまいがちですが、国語の力を付けるためには、日頃の読書が非常に大切になります。読書は勉強の息抜きにもなりますし、同時に読解力を高められるので一石二鳥です。どんな本でも構わないということではなく、読解力を身に付けたいのであれば、読む本にも少しこだわっていきましょう。具体的には、ライトノベルや携帯小説、漫画を題材にした小説本などは読解力を身に付けるという意味ではふさわしくありません。文学的な要素の強い本や、教養を深められる新書を読んでいくとよいでしょう。

② 文法・漢字などの基礎的な知識は反復を

文法や漢字などの知識問題に関しては、習った後に問題演習を繰り返し、すぐに身につけられるようにしましょう。特に文法は1年生からの積み重ねが大切なので、復習は欠かさず行いましょう。

③ ワークを計画的に進める

定期試験で良い点数を取るためにはワークなどを通して、問題演習に慣れることが重要です。定期試験の範囲はとても広くなるので、ワークは定期的に進めておきましょう。

社会



① 復習する習慣を身につける

授業で学習した内容を繰り返し勉強することで、実力が着実に向上していきます。少なくとも教科書を自宅で読み返すなどの復習をする習慣をしっかりと身につけましょう。また、その際、暗記に偏るのではなく、事象の背景や発生に至るまでの要因などをしっかりと押さえるようにしましょう。

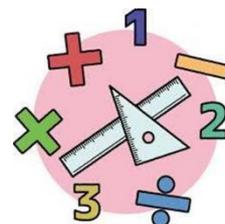
② 基本的知識を身につける

教科書の太文字で記してある単語を中心に基本用語をしっかりと理解するとともに、地理的分野では地形や気候、産業の特色をつかみ、歴史的分野では時代の大まかな流れや時代や文化の特徴をつかんでおくとい良いでしょう。

③ ワークを活用する

身に付いた知識を使って、問題を解いてみましょう。問題を解くことによって、身に付けた知識と知識がつながって、理解がさらに深まります。また、資料活用の技能や記述力も、ワークを活用することによって向上します。同じ問題を2～3回繰り返し行いましょう。

数学



① 計算力をつける

数学では、毎年「計算」「関数」「図形」などの単元を学習します。どの単元でも必要になってくるのは計算力です。図形でも最終的には計算で処理して、面積や体積を求めることになります。角度を求めるためにも、計算力は必要です。授業中に小テスト（Math Math テスト）や宮中検定など、計算問題を中心としたテストを実施しています。満点を目指し、計算練習に取り組んでください。教科書や問題集の問題を繰り返し行うだけでも、力は確実に付いてきます。

② 途中の計算や解き方を丁寧に書く

答えだけを書くのではなく、途中の計算や解き方を丁寧に書く習慣を付けましょう。分かっているつもりでも勘違いをしていることもあります。途中の計算や解き方が書いてあれば、丸つけのときに、どこでどう間違えたのかを見つけることができます。それが大切なのです。間違えた問題は、どこで間違えたのかを確認し、もう一度やり直しましょう。間違えた問題をチェックしておき、何日かしたらもう一度その問題に挑戦し、確実に自分のものにしていきましょう。

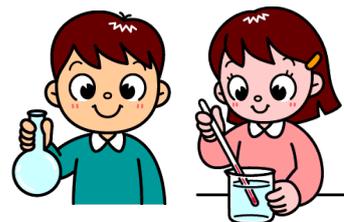
③ 復習をして何回もくり返して練習する

授業で学習した内容を身に付けるには、ワークや教科書の問題を何回もくり返し復習することが大切です。例えば、問題集の問題は、すぐに答えを書きこまず、1回目はノートにやる。2回目、もしくは3回目は問題集に書きこむなど、同じ問題を2～3回繰り返し行いましょう。くり返し行くと答えを覚えてしまいがちですが、その答えを導くまでの過程（途中の計算や考え方）を大切に学習しましょう。



**1・2年生のうちに、
数学の基礎・基本をしっかり身に付けましょう！**

理科



実験や観察は、ただ結果を知ってそれを覚えるだけでは面白くありません。また、そのようにして知った結果はあまり定着せず、すぐに忘れてしまうことが多いです。授業（実験や観察）で、「なぜだろう？」と疑問を持ち、自分なりに考えて出した答えは、たとえ間違っていたとしても、考えた時間というのはとても大切であり、そのあとに知った正しい答えは記憶に残るはずです。「考える」ことを大切にしていきましょう。

① 理科では予習はあまり必要ありません。

授業（実験や観察）で、「なぜだろう？」と考えたり、「なるほど！」と気づいたりすることがとても大切であり、そこが理科の面白さです。

② 予習がない代わりに、復習はしっかりやいましょう。

その日に学んだことについて、教科書やノート、ワーク、資料集で復習しましょう。また、疑問や不思議に思ったこと、興味を持ったことについて、自分で調べてみることもよい学習になります。

③ テスト前は、下の①～③にそって学習するといと思います。

- ① 教科書やノートを見直して大切なところを自分なりにまとめてみましょう。
- ② ワークやプリントなどの問題集を使って繰り返し問題を解いてみましょう。
- ③ テストは授業でやった実験や観察をもとにした問題が出ます。実験や観察の操作や結果をしっかりと確認しておきましょう。

英語

① 予習よりも復習をしよう！

英語では、新しい文を学習したら、該当のワークをやってみましょう。書く時は発音しながら書くとよいと思います。授業中に発音練習したことを思い出しながら、何度も言って書くことで手と耳と口で覚えます。授業で本文を読んだあとは、本文を暗記するまで音読するとよいでしょう。言えるようにしてから、ぜひ書いてみましょう。ワークは時間をおいて何度も繰り返すことで定着します。学習した文を用いて、オリジナルの文を書いてみましょう。



② 単語や文の書き方要注意！

例えば、alphabet という単語を書き写したりする時に、al, ph, abe, t のように1つの単語を区切って書いていませんか。それでは何回書いても絶対覚えることはできません！まず、1つの単語は一度に全て書きます。それができるようになったら、一度に書く単語の数を増やしていきます。その時に、自分が書いたものが正しいかどうか必ず確認しましょう。これを雑に行うと間違えて覚えてしまいます。

③ 英語検定やラジオ講座にチャレンジ！

時間が合う人はぜひNHKのラジオ講座を聞いてみましょう。学校の授業だけでなく、英語を聞く練習になります。またある程度学習が進んだら、英語検定に挑戦してみましょう。年に3回挑戦できます。内容は聞くこと、読むこと、書くことです。3級以上は、2次試験で話すことについてもテストされます。また洋楽を聞くのも良いです。カラオケで歌えるとかっこいいですね！